

## クラブの運営及び指導方針について

## 波田白樺ジュニアクラブ

波田白樺ジュニアクラブは2002年3月に少年軟式野球のクラブチームとして、「子供のための誰でも野球ができる環境作りを目指し、野球の基本と楽しさを教えたい」をモットーに発足しました。運営体制としては、子供達クラブ員を中心に、発起人のサポート、指導者（監督、コーチ）と保護者会、事務局で一体となったクラブ運営を目指しています。野球人口は年々減少してきていると言われますが、クラブとしては底辺拡大に向けて設立の原点に戻り、子供達が野球は楽しい、野球が好きだと言えるように、発展途上のクラブですが、より良いクラブチームを目指しますのでよろしくごお願い致します。

## ■波田白樺ジュニアクラブ発足の思い

- ・誰でも野球ができる環境をつくること。
- ・野球の基本と楽しさを教えること。
- ・存続させること。（卒業生が指導者になれば理想です）

## ■波田白樺ジュニアクラブの理念

健全な身体の育成とスポーツマンとしての秩序と礼儀を鍛錬すると共に、野球技術の基本を習得し、そして野球の楽しさを知ることにより、軟式野球の底辺の拡大と発展に寄与します。野球を通じて世代を超えた親睦を深め、町づくりへの貢献と地域から愛されるクラブチームを目指します。

## ■クラブ運営方針

- ・子供たちの「野球ができる“場”」のことを常に目線（原点）において運営していきます。
- ・頑張っ、できない事ができるようになり自信となれば幸いです。
- ・安全、健康管理を最優先します。

## ■指導方針

野球を通じて、誰にでも挨拶ができる、チームとしての行動ができること（団体行動、決めたことは守る）を身につける。

## ①野球が好きになること。野球の楽しさを伝える。

- ・小学生は野球の入り口であり、野球が好きになる時期である。
- ・やっていて面白い、楽しいが重要。でも試合に勝たない野球は本当の面白さはわからない。

## ②小学生に合った基本を教える

- ・野球を覚える。（姿勢・動き、ルール、攻める時は塁を進め、守る時は塁を進めさせない）
- ・どんな事も全力プレーで行う。
- ・投げる（キャッチボール）、走る、打つ、守る、の技術的な基本を覚える。
- ・応用は基本ができてから。

## ③精一杯頑張ることの大切さを教える。

- ・人と比べるのではなく自分がどれだけ上手になったか（がんばった）が重要。
- ・何事も最善をつくす。できなくてもやってみようとするのが大事。（失敗しないと上達しない）